

環境厚生分科会委員長報告

R 1 . 9 . 2 6

環境厚生分科会に付託されました平成30年度一般会計、各特別会計及び企業会計決算について、審査の経過概要とその結果を報告いたします。

まず、**第16号議案 平成30年度一般会計決算の本分科会所管分**ですが、その主な内容は、民生費及び衛生費において、市民の生活を守る各福祉事業、くらしに密着する環境衛生事業、健康を守る保健衛生事業などであり、おおむね予算に沿って、事務事業が執行されていました。

採決に先立ち、新火葬場の建設予定地について、審議会の答申では余部町丸山が望ましいとの結論であったが、地域住民の合意形成の課題を踏まえ、亀岡市が再度検討すべきであったとの反対討論がありました。採決の結果は賛成多数をもって認定すべきものと決定しました。

次に、**第17号議案 平成30年度国民健康保険事業特別会計決算**ですが、国民健康保険法に基づき、医療を保障し、福祉を増進するための事業が実施されており、適正な運営に努められていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、**第 18号議案 平成30年度休日診療事業特別会計決算**であります
が、休日等の応急的な診療を行い、市民に定着している事業であり、適正な
運営に努められていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべき
ものと決定しました。

次に、**第 20号議案 平成30年度介護保険事業特別会計決算**であります
が、介護予防事業や各種介護サービスの実施等、適正かつ円滑な運営に努め
られていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は全員をもって認定すべきも
のと決定しました。

次に、**第 21号議案 平成30年度後期高齢者医療事業特別会計決算**であ
りますが、保険証等交付、給付申請、保険料の徴収等を実施し、制度の円滑
な運営に努められていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべき
ものと決定しました。

次に、**第26号議案 平成30年度病院事業会計決算**ではありますが、全国的にも地域医療を取り巻く環境が厳しさを増す中、市域に唯一の公立病院として安定した医療の提供を行うための経営改善に努められていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが、本分科会の報告といたします。

《環境厚生分科会》 令和元年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	環境保全対策経費	1 拡充	○様々な手法を駆使して対策を行うとともに、効果的な啓発方法を検討されたい。
2	生活困窮者自立支援事業経費	2 現状維持	○さらなる支援機能の向上を図るため、引続き庁内外の連携強化を推進されたい。
3	包括的支援事業経費	2 現状維持	○地域包括ケアシステムが最大限に機能するよう、人的配置の検討を行うとともに、市民への一層の周知に努められたい。